

平成19年度第1回西部地区フォローアップ委員会 議事録

日時：平成19年6月6日（水）15：00～17：00

会場：地域交流まちづくりセンター2階研修室A

出席者：星野委員長，齋藤副委員長，谷澤委員，原委員，山田委員

（事務局）都市建設部長，都市建設部次長

街づくり推進課 渡邊課長，宿村主査，扇谷主査，木村技師，林主事

都市デザイン課 國安主査，小柳主査

傍聴者：1名

（1）平成18年度第2回委員会の論点・提言内容の確認について

渡邊課長

（資料「平成18年度第2回西部地区フォローアップ委員会の論点・提言内容について」説明）

原委員

パブリックコメントの高さ制限について，撤廃するという意見もあったようだが，景観上建物の高さというのは重要である。現行の制度は高さの上限を決めており，デコボコのものが発生しやすいが，欧米等では同じ高さのラインに揃えるという考え方がある。時間はかかるかもしれないがそのような方向でまちを変えていけたら美しいまちになるのではないかと思う。

星野委員長

景観というのはその建物自体の美しさや色というだけではなく，まち全体の景色を変えるような大きな構造物については配慮や検討することが必要だと思う。景観審議会への諮問基準を教えてください。

國安主査

景観審議会に市が諮問をかける基準というのは，新しく建てる建物については，外観の形態が特殊で市内に類似の建築物がない場合である。ご指摘のとおり景観の捉え方というのは建物単体の問題ではなく，函館山を見る視点などもある。今後の都市景観条例改正にむけての議論のなかで今のご意見を踏まえつつ考えていきたい。

星野委員長

まちの景観を守っていくために今後出てくるとされる問題であり，行政側が法律上認められているものを駆使しながら一定の歯止めをかける必要がある。

谷澤委員

容積率の緩和や各種助成制度が充実した場所に投資が行われやすいことから，西部地区の空き家に対する助成や緩和策を講じ，利用価値を高めていくことも一方で考えなくてはならないと感じる。

星野委員長

提言内容に対する市の回答には，はっきりとした意思表示をし，方向性を示して欲しい。

齋藤委員

「高齢化社会に対応したまちづくり」の具体的な取り組みを聞きたい。

宿村主査

平成20年以降に高齢者対応ということでデマンドバスの運行や空き家の活用などを考えている。

星野委員長

できれば，今年度中に始めるようなスピードで取り組んでほしい。

山田委員

子供に視点をおいたまちづくりも考えて欲しい。地域交流センターの利用や学校開放についても気軽に利用できるかといえば，色々な制約が多く難しい。地域の人が気軽に利用出来たり，子供達が遊べる場が必要である。

星野委員長

西部地区を多世代が交流できる場としていくことが重要である。

星野委員長

事務局には，本日出された意見をもとに，今後の取り組みを進めていくことをお願いして（1）については終了する。

（2）「西部地区（都市景観形成地域）のまちづくり構想」施策の実施状況の検証および評価について

宿村主査

（資料「西部地区（都市景観形成地域）のまちづくり構想」施策の実施状況の動きのあった部分について説明。）

星野委員長

函館山山頂からの夜景では巨大な電飾を施した広告物が目立つ。夜景の美観をつくっていく上でマイナス要因になっていると感じる。屋外広告物条例のなかで規制していく必要があるのでは。

國安主査

中核市に指定された時点で道から引き継いだ屋外広告物条例は北海道一律のもので

ある。これをまちに合ったかたちに改正することを検討している。

原委員

港の夜景も山頂から見る夜景とはまた違った魅力がある。地上から見た場合だけでなく、遠くから見た際の広告物についても配慮がほしい。

谷澤委員

1 ページの住民ニーズアンケート調査について具体的にどのようなニーズがあったかを聞きたい。お年寄りばかりではなく、中核となる働いている世代がまちを興していかないとなかなかまちに元気はでない。商店街などの市民力をつけるために地域限定でもよいのでまち興しをできるような団体に市がバックアップしていくようなことも必要なのでは。

宿村主査

住民ニーズアンケート調査については、主に住宅や環境についてのアンケートとなっている。今後、商店街に関してもどのようなニーズが地域にあるのか探っていきたい。

星野委員長

評価が低い項目に力を注ぐなど優先順位をつけた上で、何が進めていく上で障害になっているかを考えて進めていただきたい。

山田委員

住民の潜在ニーズを汲み上げることにより、住民がまちが変わったという実感が得られる対策ができるのでは。

齋藤委員

3 ページのまちづくりのビジネス化にある9つの民間専門家集団の協力による具体的な相談件数を定量的に示して欲しい。

宿村主査

次回までに整理してお答えしたい。

原委員

市内の業者ではなく、広域で動いているようなリフォーム業者対策はどこで行うのか。地域住民の中でお年寄りを孤立化させないとか、住民に対する働きかけや守り方を考えていく必要性を感じた。

宿村主査

住宅都市施設公社に住宅相談窓口を開設し、全般的な住宅相談を行っている。安心して利用できる仕組みということで今回9つの民間専門家集団窓口を紹介できる仕組みを作った。

齋藤委員

業者登録の仕組みが増えていき、ビジネス化が展開していくと、市民やお年寄りが安心して利用できるようになる。

星野委員長

住宅都市施設公社の住宅相談窓口が公的サポートとして十分に機能するための積極的なPRをしているかということ、市民との距離感が感じられるのではないかと。市としての手厚さが足りないという部分もあり対応が必要。

原委員

将来的に土地や建物の共同建て替えなど推進していくという立場からもひとり暮らしのお年寄りなどに日頃から接してニーズを把握し、働きかけることが必要である。

星野委員長

いい意味での信頼感が得られるようなアプローチをする必要がある。

谷澤委員

住む側にとってのコミュニティ問題の事項に進捗していないものが多い。高齢者の問題ばかりだけではなく、住む側の地域においての役割や責任を含め注入しなくてはならない。町内会活動や近所に対する配慮などの積み上げも必要。コミュニティの結束について町会の活性化をどう進めていくかを真剣に考えなければいけない時期にきている。西部地区のまちづくり構想で住む側のコミュニティの強化について取り組んでいるのは重要である。いくら助成してもそのような視点が欠落してはいないまちづくりとは言えない。

齋藤委員

町内会と市の福祉の方で西部地区をモデル地区としてコミュニティを持つことを検討している。地域と福祉が手を結ぶことによりまちづくりのモデルができていくのではないかとと思う。

原委員

まちづくり構想を実現するためには、都市建設部が中心となり他と連携して進めて欲しい。

2 ページに大三坂の無電柱化とあるが、坂道ではなく、平らな道での無電柱化は検討していないのか。費用の面で無電柱化が難しいということであれば、坂道以外の平らな道路で検討してはどうか。

景観面で言えば電車についても将来的には電線が目立たないようなものを導入してほしい。

統廃合による弥生小学校の存続についてはどのような状況になっているのか。

宿村主査

坂道も平らな道も無電柱化には相当な費用を要する事から 現状では整備は難しい。

- 渡邊課長 弥生小学校については、将来的に西小学校と統合ということでは検討が進められている。統廃合後の校舎は、現在の弥生小学校を想定しているが、現在、校舎を解体するか保存するかについては、教育委員会の方で検討中と聞いている。
- 國安主査 弥生小学校は、景観上重要な建物なので、校舎の存続には、景観審議会の意見を聞く必要があるので、段階に応じて教育委員会と連携を取り進めていきたい。
- 星野委員長 重要なランドマークになるような建築物の活用については、都市建設部としてもぜひ積極的に検討していただきたい。
- 山田委員 子供達のことを考えれば、弥生小学校については、道路に面した部分を残して、現在の体育館の部分を解体して新しい勉強しやすい環境の新校舎を建設することが望ましいと思う。
- 原委員 ライトアップについて主要な建築物ばかりではなく、観光客の通行量が多い通りなどは期間を限定して、独自でイルミネーションを行っている方に補助を出すなどを考えると少ない費用で大きな景観的な効果が得られると思う。
景観問題で多少は投資効率も考えなければ建て替えが進まないという話もあったが、本州や札幌の一部などでは不動産投資信託が盛んで高収益を生み出してお金が流れ込んでいるようだ。その勢いが函館にも及ぶと高層マンションが建設された時期のように荒らされてしまう恐れがある。西部地区についてはその影響から守ることができるようあらかじめ手を講じてほしい。
函館山山頂からの景観については、港湾施設についても景観施設として指定できるはずである。きれいな巴の形を残すような方向で機能性ばかりではなく、景観についても考慮してほしい。
- 星野委員長 事務局には、本日出された意見をもとに、今後の検討課題を整理していただくことをお願いして、(2)については終了する。

(3) 平成19年度まちづくり交付金事業計画について

- 宿村主査 (資料「まちづくり交付金事業実施箇所図」とスライドを使用し説明)
- 星野委員長 元町公園は全く緑がなくなってしまう無機質になってしまったように思う。多目的に使用するというような目的があつてのことなのか。
- 宿村主査 所管の土木部緑化推進課に確認する。
- 星野委員長 西部臨港通が整備されるのはよいが、周辺に廃屋がいくつかあり景観を阻害している。道路整備に合わせた、総合的な景観形成にできる限りの対応をしてほしい。
- 原委員 無電柱化出来ない問題点は何か。
- 星野委員長 道路を工事する際に同時に無電柱化すればいいと思う。
- 平井次長 電柱は所有者がそれぞれ違い、工事実施にあたっては、改めて各建物への配線工事が必要になる。そのような意味でかなりの経費負担が電力会社や電話会社にもかかることになる。
- 星野委員長 無電柱化を実施するためには、具体的に建設費がどのくらいかかるのか次回までに教えてほしい。
- 谷澤委員 産業ということでお話ししておきたい。昨年くらいからNTTドコモ・未来大・市企画部と組んでITを使用した仕組みづくりをしていたものが具体的になりそうだ。医療情報等を外国人の方が母国語で話を聞けるようなものを立ち上げているところがある。西部地区の新しい情報発信として企画をしているということを参考までに申し上げたい。
- 星野委員長 本日いただいた意見をもとに、今後の取り組みを進めていただくことをお願いして、(3)については終了する。
- 扇谷主査 次回の委員会は、平成19年11月頃を予定しているので、よろしく願います。
(議事終了)